

(別紙4(2))

事業所名: 認知症対応型共同生活介護グループホームたけとんぼ

作成日: 平成 24 年 3 月 14 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域との付き合いやつながりが乏しい。	運営推進会議や消防訓練、ボランティアなど地域の方々に参加して頂ける事業所にしたい	国場地区にグループホームがあるという認知がまだまだ低いので月1の新聞配布や公民館等への行事参加など積極的に活動を行いたい。	12ヶ月
2		職員に対し認知症の理論・理解はあるが身体拘束・ターミナル・おむつ外しなどの理解が低い。	今後、受け入れていくであろう重度・末期等に対する知識・理論など準備を行いたい	各マニュアル等はあるが読み合わせでの理解は難しいので他施設の研修や講演会等への派遣を行いたい。	12ヶ月
3		活動性の無さ。 ただ、共同生活をするのではなく認知症の進行維持や改善に対する活動性	認知症同士だけでなく普通の高齢者とのふれあいやデイサービス等の参加も行う。 学習療法や音楽療法などのリハビリも行っていく。	介護に追われ評価・改善が疎かになりがちなので認知に対し個別評価を見直し機能訓練とは別に作業療法的な活動・リハビリを行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。